プログラム

1日目　11月21日（土）

第1会場（5F樹海）

11：45〜11：50　　開会式

11：50〜12：50　　ランチョンセミナー1

座　長：岩崎　倫政（北海道大学大学院医学研究院機能再生医学分野整形外科学教室）

LS1　膠原病・リウマチ内科医のための骨粗鬆症治療

神田　真聡（札幌医科大学医学部 内科学講座　免疫・リウマチ内科学分野）

共催：あゆみ製薬株式会社

13：00〜13：50　　教育講演1

座　長：髙木　理彰（山形大学 医学部 整形外科学講座）

EL1　全身性エリテマトーデス治療の標準化とガイドライン

渥美　達也（浦河赤十字病院 特別顧問／北海道大学名誉教授）

共催：大塚製薬株式会社

13：55〜14：45　　特別講演

座　長：牧野　雄一（旭川医科大学病院 リウマチ・膠原病内科／
旭川医科大学 地域共生医育センター）

SL　北海道の風土が醸す醸造文化の再構築〜上川大雪酒造が挑む地方創生〜

川端　慎治（上川大雪酒造株式会社 総杜氏／
国立大学法人北海道国立大学機構 帯広畜産大学 客員教授／
拓殖大学北海道短期大学 客員教授）

14：55〜16：05　　若手・医学生セッション（専攻医）1

座　長：田中　　来（旭川医科大学 内科学講座 内分泌・代謝・膠原病内科学分野）
中村　浩之（北海道大学病院 リウマチ・腎臓内科）

YO1-1　子宮体癌の診断と同時期に再燃した抗MDA-5抗体陽性皮膚筋炎の一例

手塚　充揮（北海道大学大学院医学院・医学研究院 免疫・代謝内科学教室）

YO1-2　心筋障害を合併した抗ミトコンドリアM2抗体陽性筋炎の1例
荒川　尚輝（岩手県立中央病院 腎臓・リウマチ科）

YO1-3　末梢性T細胞リンパ腫を合併した抗PM/Scl-100抗体・抗Mi-2抗体陽性皮膚筋炎の一例
山元　　想（福島赤十字病院 リウマチ・膠原病内科）

YO1-4　伸筋腱の欠損を伴う皮膚潰瘍を合併した抗MDA5抗体陽性皮膚筋炎に対しJAK阻害薬導入後に改善を認めた一例
袴田　　聖（旭川医科大学 内科学講座 内分泌・代謝・膠原病内科学分野）

YO1-5　IgG4関連疾患における治療開始時CRPと腎機能低下の関連
山崎　碩嗣（札幌医科大学医学部 内科学講座 免疫・リウマチ内科学分野）

YO1-6　発症から6年後に冠動脈周囲炎により再発したIgG4関連疾患の1例
冨澤　優太（岩手県立中央病院 腎臓・リウマチ科）

YO1-7　顕微鏡的多発血管炎の寛解導入療法中にβ-Dグルカンの上昇と肺結節を認めた1例
門脇　晴海（JA北海道厚生連 旭川厚生病院 代謝内分泌内科）

YO1-8　子宮内膜癌治療後に好酸球性多発血管炎性肉芽腫症を発症した一例
齋藤　賢司（太田西ノ内病院膠原病 リウマチ内科）

YO1-9　AAアミロイドーシスを契機に診断された巨細胞性動脈炎の一例
番場真珠美（旭川医科大学 内科学講座　内分泌・代謝・膠原病内科学分野）

YO1-10　GPAとの鑑別を要し、耳介軟骨炎の再燃を契機に再評価した再発性多発軟骨炎の1例
二武　弘樹（福島県立医科大学医学部 リウマチ膠原病内科学講座）

16：15〜17：05　教育講演2

座　長：石井　智徳（東北医科薬科大学 内科学第三（血液・リウマチ科））

EL2　リウマチ診療での 21 世紀のトピックス〜関節リウマチのバイオ，自己炎症性疾患，そして IgG4 関連疾患〜
髙橋　裕樹（札幌同交会病院／札幌医科大学名誉教授）

共催：富士製薬工業株式会社

17：10〜17：45　若手・医学生セッション（専攻医）2

座　長：近　祐次郎（さっぽろ内科リウマチ膠原病クリニック）
古崎　　章（SCリウマチクリニック）

YO2-1　リツキシマブで長期寛解中に再発した難治性Susac症候群の 1 例
小熊　美沙（東北医科薬科大学病院　血液・リウマチ科）

YO2-2　胸腺腫と重症筋無力症を合併した抗Ku抗体陽性オーバーラップ症候群の1例
小川政太朗（福島県立医科大学 リウマチ膠原病内科学講座）

YO2-3　認知症を有する関節リウマチ患者における疾患活動性および治療選択の特徴
渡部　桃子（秋田大学医学部附属病院 整形外科）

YO2-4　難治性筋炎、嚥下障害を呈しリツキシマブが奏功した抗ARS抗体症候群/全身性強皮症オーバーラップ症候群の一例
板倉　正道（旭川医科大学 内科学講座 内分泌・代謝・膠原病内科学分野）

YO2-5　トロンボポエチン受容体作動薬による血小板減少症を治療中に乳頭筋断裂をきたした全身性エリテマトーデスの一例
新澤　智行（東北大学病院 リウマチ膠原病内科）

18：20〜19：20　イブニングセミナー1

「次世代抗体を用いた関節リウマチ診療」
座　長：髙木　理彰（山形大学医学部 整形外科学講座）
佐藤　秀三（福島県立医科大学医学部 リウマチ膠原病内科学講座）

ES1-1　VHH 抗体が変える医療のこれから
村上　明一（徳島大学大学院医歯薬学研究部・口腔微生物学分野）

ES1-2　関節リウマチ診療で残された課題に挑む
加藤　　将（富山大学学術研究部医学系 内科学第一講座）

共催：大正製薬株式会社

第2会場（5F樹氷）

11：50〜12：50　ランチョンセミナー2

座　長：藤本　　穣（岩手医科大学附属病院 内科学講座
リウマチ・膠原病・アレルギー内科）

LS2　進行性肺線維症におけるネランドミラストへの期待
河野　通仁（北海道大学大学院医学研究院 免疫・代謝内科学教室）

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社

14：50〜16：10　スポンサードシンポジウム1

座　長：高窪　祐弥（山形大学医学部附属病院 リハビリテーション部）
下島　恭弘（福島県立医科大学医学部 リウマチ膠原病内科学講座）

SS1-1　高齢発症関節リウマチを関節エコーで診る
パネリスト　谷村　瞬（北海道内科リウマチ科病院　リウマチ科）

SS1-2　IL-6 阻害の有用性を交えて高齢 RA の治療戦略
パネリスト　片山　耕（片山整形外科リウマチ科クリニック）

SS1-3　関節リウマチにおける IL-6 阻害療法の有用性
パネリスト　河野　通仁（北海道大学大学院医学研究院 免疫・代謝内科学教室）

SS1-4　大型血管炎の新ガイドラインと IL-6 阻害の位置付け
パネリスト　白井　剛志（東北大学病院 リウマチ膠原病内科）

共催：中外製薬株式会社

17：10〜18：06　若手・医学生セッション（研修医・学生）

座　長：阿部　史人（秋田大学 血液腎臓膠原病内科）
駒ヶ嶺正嗣（岩手医科大学 リウマチ膠原病アレルギー内科）

RS-1　難治性消化管障害に対して大量ガンマグロブリン療法が奏効した全身性強皮症の1例
田原　愛子（福島赤十字病院 初期臨床研修医）

RS-2　ウパダシチニブが奏功した難治性腸管ベーチェット病の一例
森田　夕葵（札幌医科大学 医学部医学科）

RS-3　トリソミー8陽性骨髄異形成症候群を合併した乾癬性関節炎に対しウパダシチニブが奏効した1例
藤田　健瑛（青森県立中央病院 リウマチ膠原病内科）

RS-4　Systemic sclerosis sine sclerodermaに重症肺高血圧症を合併した一例
鎌田　彩香（札幌医科大学 医学部医学科）

RS-5　COVID-19感染後に抗Mi-2抗体陽性を示し、皮膚筋炎を疑われた一例
藤島　朱理（北海道医療センター　臨床研修部）

RS-6　巨細胞性動脈炎の治療経過中に発見された右胃大網動脈瘤の1例
西原　悠佳（市立札幌病院 臨床研修センター）

RS-7　遷延する発熱発作・腹痛の背景にMEFV遺伝子変異を認めた79歳女性の1例
戸田壮太郎（市立札幌病院 臨床研修センター）

RS-8　好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の抗IL-5/IL-5R抗体使用成績と薬剤変更例の検討
鹿野功太郎（JA北海道厚生連帯広厚生病院 消化器内科）

18：20〜19：20　イブニングセミナー2

「JAK1/2阻害から考えるOlumiantの臨床的価値」

座　長：金澤　　洋（青森県立中央病院 リウマチ膠原病内科）

仲　　哲治（岩手医科大学 副学長／医歯薬総合研究所 リウマチ膠原病アレルギー内科）

ES2-1　治療抵抗性関節リウマチを生まない為の治療戦略〜JAK 阻害剤の価値を考える〜

田巻　弘道（聖路加国際病院 Immuno-Rheumatology Center）

ES2-2　病態と臨床的特徴から紐解く間質性肺疾患（ILD）合併関節リウマチ（RA）に対するJAK 阻害薬の選択〜JAK1/2 阻害という Mode of Action（MOA）から考えるバリシチニブのポジショニング〜

坪井　洋人（筑波大学　医学医療系　膠原病リウマチアレルギー内科学）

共催：日本イーライリリー株式会社

第3会場（5F銀河）

11：50〜12：50　　ランチョンセミナー3

座　長：谷村　　瞬（北海道内科リウマチ科病院 リウマチ科）

LS3-1　関節エコーを活用した鑑別診断

猪飼　浩樹（中部ろうさい病院 リウマチ膠原病・腎感染症内科／総合内科）

LS3-2　100年時代の関節リウマチ治療

安野　翔平（大阪社会医療センター　整形外科／大阪公立大学　整形外科）

共催：アステラス製薬株式会社

14：50〜16：10　　スポンサードシンポジウム2

「関節リウマチ診療のUnmet-needs
〜高齢関節リウマチ時代におけるIL-6阻害療法の役割〜」

座　長：仲　　哲治（岩手医科大学 副学長／医歯薬総合研究所 リウマチ膠原病アレルギー内科）

城田　祐子（東北医科薬科大学病院 血液リウマチ科）

SS2-1　悪性腫瘍合併関節リウマチの治療戦略

石井　悠翔（東北大学病院 リウマチ膠原病内科）

SS2-2　フレイルを伴う高齢関節リウマチ患者の治療戦略 ―免疫老化の視点から考える―

下山　修平（JA 北海道厚生連帯広厚生病院　消化器内科（リウマチ・糖尿病内科））

SS2-3　慢性腎臓病合併関節リウマチに対する治療戦略
金澤　　洋（青森県立中央病院 リウマチ膠原病内科）

SS2-4　肺疾患合併 RA における IL-6阻害療法の実際-サリルマブの使用経験を踏まえて-
平野　史倫（旭川医療センター リウマチセンター）

共催：旭化成セラピューティクス株式会社

18：20〜19：20　イブニングセミナー3

座　長：佐川　　昭（SCリウマチクリニック）

ES3-1　バイオシミラーを、もう一度「細胞」から考える〜抗体産生・糖鎖から臨床、医療経済まで〜
近　祐次郎（さっぽろ内科・リウマチ膠原病クリニック）

ES3-2　TNFα阻害療法の進歩とバイオシミラーが拓く関節リウマチ治療の新たな可能性
片山　　耕（片山整形外科リウマチ科クリニック）

共催：サンド株式会社

第4会場（5F流星）

9：00〜11：30　関節エコー ハンズオンセミナー

9：00〜9：30 講演「関節リウマチを関節エコーで診るためのスリーステップ」
演　者：谷村　　瞬（北海道内科リウマチ科病院 リウマチ科）

9：35〜10：05 関節エコー デモストレーション（手指・手関節）
トレーナー：邉見美穂子（北海道内科リウマチ科病院）

10：10〜11：30 関節エコー　ハンズオントレーニング（手指・手関節）
トレーナー：谷村　　瞬（医師）
駒ヶ嶺正嗣（医師：岩手医科大学）
邉見美穂子（技師）
田口　紗理（看護師：駒ヶ嶺リウマチ整形外科クリニック）

2日目　11月22日（日）

第1会場（5F樹海）

8：00〜8：20　運営委員会・総会

8：30〜9：30　モーニングセミナー1

座　長：森　　優（東北大学大学院 整形外科）
　　藤井　博司（東北大学病院 リウマチ膠原病内科）

MS1-1　乾癬性関節炎治療における IL-17A/F 両阻害の意義―病態から実臨床まで―
秋山　光浩（慶應義塾大学医学部 リウマチ・膠原病内科）

MS1-2　構造特性から考える Certolizumab pegol の新たな可能性
平野　史倫（旭川医療センター リウマチセンター）

共催：ユーシービージャパン株式会社

9：35〜10：25　教育講演3

座　長：櫻庭　裕丈（弘前大学大学院医学研究科 消化器血液免疫内科学講座）

EL3　膠原病診療における糖代謝異常・高血圧症への注意点と最近の話題
野本　博司（旭川医科大学 内科学講座 内分泌・代謝・膠原病内科学分野）

共催：第一三共株式会社

10：30〜11：50　スポンサードシンポジウム3

座　長：渥美　達也（浦河赤十字病院 特別顧問／北海道大学名誉教授）
　　髙橋　裕樹（札幌同交会病院／札幌医科大学名誉教授）

SS3-1　シェーグレン病の病因・病態―唾液腺機能異常から自己免疫の発症まで―
中村　浩之（北海道大学病院 リウマチ・腎臓内科）

SS3-2　シェーグレン病の病態機序 -自己抗体と B 細胞を中心に-
石井　智徳（東北医科薬科大学 内科学第三（血液リウマチ科））

SS3-3　シェーグレン病における疾患活動性の評価 –新規バイオマーカーへの期待–
藤本　　穣（岩手医科大学医学部内科学講座 リウマチ・膠原病・アレルギー内科）

共催：ノバルティスファーマ株式会社

12：10〜13：10　　ランチョンセミナー4

座　長：櫻庭　裕丈（弘前大学大学院医学研究科 消化器血液免疫内科学講座）

LS4　北海道・東北地区の関節リウマチ診療のこれから〜過疎地域における遠隔診療とバイオシミラーのあり方〜

神田　真聡（札幌医科大学医学部 内科学講座 免疫・リウマチ内科学分野）

共催：セルトリオン・ヘルスケア・ジャパン株式会社

13：10〜13：20　　閉会式

第2会場（5F樹氷）

8：30〜9：30　　モーニングセミナー2

座　長：竹森　弘光（青森慈恵会病院 リウマチ科）

MS2　慢性腎臓病と関節リウマチ〜リウマチ医の視点で腎臓を守る〜

花岡　洋成（埼玉医科大学総合医療センター リウマチ・膠原病内科）

共催：アッヴィ合同会社

10：30〜11：05　　一般演題1（リウマチの外科）

座　長：杉村　祐介（秋田労災病院 整形外科）
　　高窪　祐弥（山形大学医学部 リハビリテーション部）

O1-1　脂質異常症を背景に腱断裂を発生したアキレス腱骨化症の1症例―リウマチ性付着部病変との鑑別を踏まえて

永田　浩之（和泉市立総合医療センター 整形外科）

O1-2　重度な股関節痛に鉱質コルチコイド反応性低ナトリウム血症を併発した1例

川村　澄人（羊ヶ丘病院 整形外科）

O1-3　人工手関節全置換術の治験例における10年以上の臨床成績

松井雄一郎（北海道大学大学院歯学研究院 口腔総合治療学教室）

O1-4　内側広筋温存アプローチを用いたTKAの治療経験

佐藤　　光（能代厚生医療センター 整形外科）

O1-5　関節鏡視下滑膜切除術を施行した肩単関節炎の1例

杉村　祐介（秋田労災病院 整形外科）

11：06〜11：48　　一般演題3（その他炎症性疾患）

座　長：川幡　智樹（旭川医科大学 内科学講座　内分泌・代謝・膠原病内科学分野）
　　久田　　諒（北海道大学大学院医学研究院 免疫代謝内科学教室）

O3-1　重度の下痢と咳嗽を呈したTAFRO症候群の1例
村井　康久（弘前大学医学部附属病院 消化器血液免疫内科）

O3-2　アザシチジン併用下でバリシチニブからルキソリチニブへの変更が奏効したVEXAS症候群
阿部　史人（秋田大学医学部附属病院 血液腎臓膠原病内科）

O3-3　インフルエンザ感染を契機に肺胞出血を発症した維持血液透析中の抗GBM病の一例
市川　一誠（山形大学医学部附属病院第一内科（腎臓・膠原病内科））

O3-4　発症29年後にTNF阻害薬を導入した慢性再発性多発性骨髄炎の1例
今宮　若奈（山形大学医学部附属病院 整形外科）

O3-5　ウパダシチニブが有効であった膝関節炎の１例
川村　澄人（羊ヶ丘病院 整形外科）

O3-6　ウパダシチニブが有効であった大関節炎の１例
川村　澄人（羊ヶ丘病院　整形外科）

12：10〜13：10　　ランチョンセミナー5

座　長：牧野　雄一（旭川医科大学病院 リウマチ・膠原病内科／
旭川医科大学 地域共生医育センター）

LS5　全身性エリテマトーデスにおける clinical inertia と生物学的製剤の役割
三宅　啓史（天理よろづ相談所病院 総合内科医長・膠原病センター）

共催：アストラゼネカ株式会社

第3会場（5F銀河）

8：30〜9：30　　モーニングセミナー3

座　長：岡本　健作（旭川医科大学 内科学講座 内分泌・代謝・膠原病内科学分野）

MS3　JAK 阻害薬の使用法〜ガイドラインと実臨床の狭間で何を考えるか〜
片岡　　浩（市立札幌病院 リウマチ・免疫内科）

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社／エーザイ株式会社

10：30〜11：05　　一般演題2（RA①）

座　長：麻生　邦之（札幌医科大学医学部　内科学講座　免疫・リウマチ内科学分野）
　　石井　悠翔（東北大学病院　リウマチ膠原病内科）

O2-1　早期関節リウマチ（Pre-RA）に対するメトトレキサート皮下注射製剤（メトジェクト）の治療効果：関節エコーと臨床指標を用いた前方視的検討
田口　紗理（駒ヶ嶺リウマチ整形外科クリニック）

O2-2　高齢発症関節リウマチに対しオゾラリズマブ投与間隔延長を行った1例
黒瀬　理恵（弘前総合医療センター 整形外科）

O2-3　経口メトトレキサートから皮下注射製剤への切替後の臨床および関節超音波所見の縦断的評価
駒ヶ嶺　正嗣（岩手医科大学 リウマチ・膠原病・アレルギー内科）

O2-4　関節リウマチ患者における手指関節滑膜炎の程度別にみた手指運動療法の効果
大黒龍汰郎（北海道内科リウマチ科病院 リハビリテーション課）

O2-5　75歳以上の関節リウマチ患者におけるメトトレキサート継続と中止要因の検討
太田　真二（弘前大学大学院医学研究科 地域医療学講座）

11：06〜11：27　　一般演題4（RA②）

座　長：金澤　　洋（青森県立中央病院 リウマチ膠原病内科）
　　下山　修平（帯広厚生病院 消化器内科（リウマチ・糖尿病内科））

O4-1　TACE-IRF3–HB-EGF制御機構を介したリウマチ性関節破壊のメカニズム解明
横田　隼一（北海道大学病院 整形外科）

O4-2　高齢発症関節リウマチにおける発症年齢と手部のPD陽性滑膜炎の分布：関節超音波による検討
永幡　　研（北海道内科リウマチ科病院 リウマチ科）

O4-3　RA患者におけるPRO リウマチ連携ノートとリウマチお困りごとチェックシートに対する患者アンケート
竹森　弘光（青森慈恵会病院 リウマチ科）

11：28〜11：56　　一般演題5（SLE・強皮症・血管炎）

座　長：片岡　　浩（市立札幌病院 リウマチ・免疫内科）
　　堀田　哲也（苫小牧市立病院 内科）

O5-1　Tumoral calcinosis様の高度石灰沈着を来した全身性強皮症の一例
柴田　悠平（北海道内科リウマチ科病院 内科・リウマチ科）

O5-2　溶連菌感染後急性糸球体腎炎との鑑別を要した重症ループス腎炎の1例
髙橋　　祐（岩手県立中央病院 腎臓・リウマチ科）

O5-3　全身性エリテマトーデスの非重症再燃に対するグルココルチコイド非増量ベリムマブ、ミコフェノール酸モフェチル併用療法の安全性、有効性：多施設共同無作為化比較試験
河野　通仁（北海道大学大学院医学研究院 免疫・代謝内科学教室）

O5-4　潰瘍性大腸炎活動期に発症した巨細胞性動脈炎に対し、プレドニゾロン、トシリズマブ併用により両病態の寛解を維持し得た一例
荻野久美子（富良野協会病院 内科）

12：10〜13：10　　ランチョンセミナー6

座　長：駒ヶ嶺正嗣（岩手医科大学 内科学講座
リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野）

LS6　リウマチ性疾患に潜む低ホスファターゼ症〜「なぜ低 ALP 血症に着目するのか？」
小谷　俊雄（北海道医療センター リウマチ科）

共催：アレクシオンファーマ合同会社